

# 感染症の知識

新型コロナウイルス感染症  
- COVID-19 - 施設編

編集/発行

京都府丹後広域振興局健康福祉部

京都府丹後保健所 保健課

〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波855

TEL.0772-62-4312

FAX.0772-62-4368



## ■感染症の備えは？

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月8日からインフルエンザと同様、5類感染症に位置づけられました。施設では、患者が発生し、正しい感染対策を行わないと感染拡大の恐れがあります。あらかじめマニュアルや対応計画を作成し、患者発生時の備えをしておきましょう。

## ■どのように感染するの？

区分	原因
エアロゾル感染	咳、くしゃみ、会話、歌、呼吸など
飛沫感染	咳、くしゃみ、会話、歌、呼吸など
接触感染	直接接触、ウイルスが付いたもの

## ■感染症の予防法は？

「3つの密」の回避	飛沫感染・接触感染の対策
<p>集団感染の共通点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●密閉空間（換気の悪い密閉空間である）</li> <li>●密集場所（多くの人々が密集している）</li> <li>●密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●石けんによる手洗い</li> <li>●手指のアルコール消毒</li> <li>●マスク着用（個人の判断に委ねられます）</li> <li>●身の回りの物の消毒（熱水、次亜塩素酸ナトリウム、アルコール消毒液、界面活性剤、次亜塩素酸水）</li> </ul> 
エアロゾル対策（居室）	予防接種
<ul style="list-style-type: none"> <li>●CO<sub>2</sub>測定（1,000ppm以下を保つ）</li> <li>●機械換気（給気口・排気口の掃除）</li> <li>●自然換気（方角の異なる窓を2箇所開放）</li> <li>●空気清浄（HEPAフィルタ搭載のみ有効）</li> <li>●送風（室内の空気を外に押し出す）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●予防接種を受ける</li> <li>・ワクチン接種から効果が現れるまで約2週間</li> <li>・ワクチン接種の効果が持続する期間は6か月程度</li> </ul> 

## ■陽性となった職員・利用者の療養期間は？

療養期間については、個人の判断に委ねられますが、外出を控えることが推奨される期間があります。

「発症日を0日として5日間」 かつ  
「5日目に症状が続いていた場合は、症状が軽快して24時間経過するまで」

陽性者のウイルス排出期間は、発症2日前から発症後7～10日間程度であり、10日間経過するまでは、不織布マスクを着用し、高齢者等ハイリスク者との接触を控えることとされています。

なお、発症後5日間経過後は排出量が大きく減少します。

■施設の高齢者等は、重症化リスクが高いため、注意する必要があります。

【職員の療養期間】可能であれば7日間休養し、10日間は利用者との接触は控えましょう。

※7日間休養の前に勤務する場合、陽性利用者の対応をするなど柔軟に対応してください。

【入所者の療養期間】10日間分離を継続し、共有エリア使用等、他入所者との接触は控えましょう。

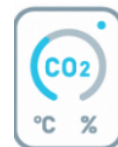
■患者発生時の感染予防は？

◆換気◆ ※陽性入所者の居室からの排気先に注意！

エアロゾル感染の防護手段として、換気は重要な要素です。防護手段である①CO<sub>2</sub>測定、②機械換気、③自然換気、④空気清浄機、⑤空気調和装置、⑥送風、⑦遮断、⑧圧力差により、エアロゾル感染を防ぎましょう。

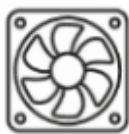
①CO<sub>2</sub>測定

CO<sub>2</sub>センサーを用いて各部屋のCO<sub>2</sub>測定を行い、厚労省推奨の1,000ppm以下を満たしているか確認しましょう。



②機械換気

機械換気とは、換気扇等のファンによって空気を給排気する方式です。給気口や排気口の掃除をするだけで換気量が16倍の事例もあります。



③自然換気

方角の異なる窓を2ヶ所以上開けましょう。1時間に2回程窓の全開が推奨されますが、常時数cm開けておくだけでも効果があります。



◆環境消毒◆

- ・手が触れる場所(手すり、ドアノブ、テーブル、リモコン、スイッチなど)を消毒
- ・入所施設1日3回以上、通所施設1日2回以上
- ・ペーパータオル等に消毒薬を浸し、清拭消毒
- ・消毒薬のスプレー噴霧は、ウイルスのまき上げや消毒液が眼に入る恐れがあるため不可
- ・アルコール消毒薬は、濃度70%以上95%以下のものを使用



◆ゾーニング◆

レッドゾーン

- ・常に个人防护具を着衣
- ⇒N95マスクはレッドゾーンのみ
- ⇒N95マスクの毎回交換が経済的負担の場合、N95の上からサージカルマスクを着用し、サージカルマスクをその都度交換
- ・个人防护具はレッド(イエロー)ゾーンで脱衣

グリーンゾーン

- ・个人防护具はグリーンゾーンで着衣
- ⇒サージカルマスクは常時着用
- ⇒目の保護具も常時着用

◆PPE(个人防护具)◆ ※状況に応じて適切に着用しましょう



- ゴーグル  
またはフェイスシールド
- N95マスク  
上から サージカルマスク
- 長袖ガウン
- 手袋

作業内容

身体介助など密接な身体接触がある場合  
※N95マスクは咳がひどい人、吸引など



- ゴーグル  
またはフェイスシールド
- サージカルマスク
- 手袋

作業内容

陽性者対応でも密接な接触がない場合  
※配膳、声かけ、バイタルサイン測定など

基本的な標準予防策の防護具セットです



- ゴーグル  
またはフェイスシールド
- サージカルマスク
- 袖なしエプロン
- 手袋

作業内容

平常時での食事介助やおむつ交換など  
※1人1交換が基本です。

<参考文献> 新型コロナウイルスに関するQ&A(一般の方向け) 厚生労働省  
感染症法上の位置づけ変更後の療養に関するQ&A 5月8日以降の取扱 厚生労働省  
新型コロナウイルス感染症への対応について(医療機関向けリーフレット) 厚生労働省  
エアロゾル感染対策ガイドブック(高齢者・障害者・障害児施設版) 京都府  
感染対策相談会資料 京都府  
感染症対応に役立つ資料 京都府